

「朝日連峰夏山開き式典」に参加しました

本年度も夏山シーズンを迎える中、令和4年6月19日(日)に、朝日連峰の鳥原山(1430m)の山頂付近にある朝日嶽神社(山形県朝日町)で朝日連峰夏山開き式典が開催され、山形森林管理署からは、中村森林事務所佐藤貴徳首席森林官が参加しました。

この行事は、朝日連峰登山者の安全を祈願するため、関係市町が持ち回りで開催しているもので、当日は天候にも恵まれ、鳥原山からは、大朝日岳、小朝日岳も遠望することができました。鳥原山周辺には、朝日連峰の中では珍しい高層湿原があり、池塘(ちとう)群の中には木道が整備されています。主峰の大朝日岳への途中で立ち寄ることの多い山ですが、山頂近くの展望台からのパノラマや湿原の植生を楽しめます。

佐藤首席森林官は、古寺鉱泉登山口から朝日嶽神社まで2時間半の道のりを経て参加し、神事では約60人の参加者が見守る中、玉串を奉てんして、今シーズンも多くの方が登山を安全に楽しみ、自然を満喫して笑顔でお帰りいただくことを祈願しました。



神事の様子



朝日嶽神社付近の湿原と木道

登山を安全に楽しみ「笑顔で帰るためのルール！」

登山計画を必ず立て、登山届を提出しましょう。家族等にも知らせましょう。

事前トレーニングを行い、体力、技術にあった無理のない登山をしましょう。

こまめに水分、塩分等を補給しましょう。

天候の急変に備えましょう。(レインウエア、予備の食料・飲料、携帯電話、予備電池、地図、コンパス、ヘルメット等)

クマとの遭遇に気を付けましょう。(ラジオ、クマ鈴)

気象情報、火山情報は、登山中もこまめにチェックしましょう。

携帯電話のGPSは、入山前にオンにしましょう。

道に迷ったら、来た道を戻りましょう。電波の通じる所、見晴らしの良い所で助けを呼びましょう。

(山形県警察ホームページより)